

1

分詞の用法

§ 1 分詞とは

分詞とは

動詞の活用した形の一種で、現在分詞と過去分詞がある。現在分詞は動詞の ing 形であり、進行形を作る時に用いられるのもこの現在分詞である。過去分詞は、規則動詞では過去形と同じ ed 形をしているが、不規則動詞の過去分詞は、下記のようないくつかの型に分類できる。

<参考> 動詞の不規則変化

A - A - A 型

「切る」: cut - cut - cut

「置く」: put - put - put

「置く」: shut - shut - shut

「広がる」: spread - spread - spread

A - A - B 型

「打つ」: beat - beat - beaten

A - B - A 型

「来る」: come - came - come

「走る」: run - ran - run

A - B - B 型

「買う」: buy - bought - bought

「会う」: meet - met - met

「送る」: send - sent - sent

「教える」: teach - taught - taught

「読む」: read - read - read

「見つける」: find - found - found

A - B - C 型

「着る」: wear - wore - worn

「書く」: write - wrote - written

「行く」: go - went - gone

「始める」: begin - began - begun

「食べる」: eat - ate - eaten

「する」: do - did - done

分詞の意味・用法

現在分詞は「進行形」で用いられることからわかるように能動的で、「～している」という意味を持つ。過去分詞は「受動態」を作る際に用いられることからわかるように、「～される」という<受身>の意味を持つ。(過去分詞はまた、完了形を作ることからわかるように、<完了>を表す働きもあるが、役割としては、「受動」の意味を表すほうが大きい。)

さて、分詞はこのように、進行形や受動態・完了形を作るが、この他にも、形容詞的な用法(限定用法ともいう)や、分詞構文で見られるような副詞的な用法もある。

(1)分詞の形容詞的な用法(名詞を前または後ろから修飾する)

the **sleeping** baby (眠っている赤ちゃん)

the baby **sleeping** in the bed (そのベッドで眠っている赤ちゃん)

the home-**made** apple pie (家で作られたアップルパイ 自家製のアップルパイ)

a camera **made** in Taiwan (台湾で作られたカメラ 台湾製のカメラ)

(2)副詞的な用法(分詞構文として)

Walking along the street, I met Tom. (道を歩いている時、トムに会った。)

= When I was walking along the street, I met Tom.

Written in German, the book was difficult for me to read.

(ドイツ語で書かれていたので、その本は私が読むには難しかった。)

= As the book was written in German, it was difficult for me to read.

動詞との関係

分詞はもともと動詞だったので、動詞としての性格を兼ね備えている。つまり受動態、完了形にもなれる。

	単純形	受動態	完了形	完了形の受動態
現在分詞	lying			
過去分詞	stolen	being stolen	having stolen	having been stolen

進行形の文や、受動態の文は、be + ~ing や be + 過去分詞の部分を一つの V と見なすのが普通である。

She is walking.

S V

He was killed.

S V

分詞から形容詞になったものも多い。

tire 「疲れさせる」という動詞。過去分詞の tired (疲れさせられている) は、「疲れている」という形容詞として扱われるようになった。従って以下のような文は、SVC の文であると解釈するのが自然である。

She is tired.

S V C

§ 2 分詞の限定用法

分詞が名詞を修飾することを、限定用法という。

限定用法では、分詞が1語なら名詞の直前に置かれ、前から名詞を修飾する。これを前置修飾という。

分詞に副詞句などの+がついて2語以上になると、名詞の直後に置かれ、後ろから名詞を修飾する。これは後置修飾である。

前置修飾

Look at the **sleeping** baby. (眠っている赤ちゃんを見なさい。)

This is the **broken** door. (これが壊されたドアです。)

A **rolling** stone gathers no moss. (転石^{こけ}苔を生ぜず。【ことわざ】)

後置修飾

Look at the baby **sleeping in the cradle**.
(ゆりかごの中で眠っている赤ちゃんを見なさい。)

This is the door **broken by Jack**.
(これがジャックに壊されたドアです。)

The tests **given to the students** were very difficult. (センター試験)
(学生に出されたテストはとても難しかった。)

§ 3 分詞の叙述用法

分詞は形容詞としての働きをするので、SVC や SVOC の C のところに使うことができる。

第2文型 (SVC) と分詞

She came running. (彼女は走りながら来た。)
S V C

上記の文では、running は「走りながら」ほどの意味で、やって来た時の彼女の状態を述べる、She に対する補語であると見なすことができる。She was running. のような文も同様に SVC としても間違いとは言えないが、進行形は be + ~ing の部分を一つの V と見なすことが定着しており、この理由から通常こちらの文は SVC と見なされる。

第5文型 (SVOC) と分詞

使役動詞や知覚動詞を使った文は、通常、SVOC の構文で使われる。このとき、O に対する C (= 目的格補語) に、現在分詞や過去分詞がくることも多い。これは、次のような意味になる。

- (1) 知覚動詞 (見る・聞く・感じる等) の構文で、C が現在分詞の場合
~しているのを見る / 聞く 等

I saw Mary dancing. (私はメアリーが踊っているのを見た。)
(dancing は Mary の状態を説明する、つまり Mary の補語。)

- (2) 知覚動詞 (見る・聞く・感じる等) の構文で、C が過去分詞の場合
~されるのを見る / 聞く 等

I heard my name called. (私は自分の名が呼ばれるのを聞いた。)
(called は my name の状態を説明する、つまり my name の補語。)

- cf) I heard someone calling my name.

(私は誰かが私の名を呼んでいるのを聞いた。)

- (3) have(使役動詞) + O + 過去分詞の場合

O (目的語) のところには、人でなく物が来ることが多い。この時、「物を ~ される」「物を ~ してもらう」の意味になる。

I had my purse stolen in the train. (私は電車内で財布を盗まれた。)

I had my hair cut by my mother. (母に髪を切ってもらった。)

「財布 = 盗まれた」「私の髪 = 切られた」すなわち my purse = stolen, my hair = cut という関係である。すなわち O = C が成り立っていることがわかる。

次の表現も大切である。

I could make myself **understood** in English.

(私は英語で話が通じた。)

I caught him **trying** to carry a table out of the room.

(私は彼が部屋からテーブルを運び出そうとしているのを見つけた。)